

広報

はちおうじの教育

4.15

平成31年(2019年)
No.98

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

地域で育む はちおうじっ子



あなたのまちを、
あるけるまち。
八王子

「おはよう、いってらっしゃい」。一日のはじめに、子どもたちを笑顔で見守る学校安全ボランティアの皆さん。地域のみんなで新しい時代を担うはちおうじっ子を大切に育んでいます。

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

なやみ言おう
☎ 0120・0・78310

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由実さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。



はちおうじっ子の 未来を育む 4つの合い言葉

地域みんなで子どもと子育て家庭を
応援するため、市では、いえいくのポイ
ントをまとめた「はちおうじのいえい
く・はちおうじっ子の未来を育む4つの
合い言葉」を新たに作りしました。ご家
庭や地域で取り組んでみましょう。

いっしょに
遊ぼう
学ぼう

家族や友だちと遊んだ
り、地域の行事へ参加し
たりするなど、さまざま
な人といっしょに過ごす
時間を大切にしましょう。

みんなで
話そう
つたえよう

日頃から家族や友だ
ち、地域の人たちとのあ
いさつや会話を大切にし
ましょう。

いっしょに
食べると
おいしいね

家族や友だちといっしょ
に食事をして、コミュニ
ケーションをとりましょう。

あったか
つながる
ころ大切に

家族や親せきとの絆
や、子どもを介した地域
の人たちとの関わり、お
互いを思いやる心を大切
にしましょう。

「はちおうじのいえいく」について、詳しくは右の二次元コードからご覧ください。→



ネット
トラブルから
子どもを守る
ために

保護者の役割を果たそう

インターネットは、気軽に多くの人と出会えたり、ゲー
ムや音楽などが楽しめたりでき、魅力的なものです。しか
し、SNSによるいじめやオンラインゲームへの依存、ネット
犯罪など、たくさんの危険が潜んでいます。スマートフォン
を持たせる前に、子どもにとって本当に必要なもののな
かを十分に考えてください。また、持たせる場合には、右
の8つの心得を参考にして、保護者の役割を果たしましょう。

スマートフォンの正しい使い方について考えるための動画
は、こちらの二次元コードからご覧になれます。

保護者向け
「スマホを置いて会話を取り戻そう」
(市立中学校PTA連合会作成)



子ども向け
「スマホとコミュニケーションと子どもたち」
(市立中学校PTA連合会作成)



問 指導課 (☎620・7405、FAX627・8811)

- 一、 フィルタリングをかける。
- 一、 家庭での使用ルールを決める。
- 一、 使用状況を確認する。
- 一、 使用目的を確認する。
- 一、 親が使い方の手本を示す。
- 一、 子どもがよすをよく見る。
- 一、 子どもとの話に耳を傾ける。
- 一、 家族で楽しい時間を過ごす。

8つの心得

市内を中心に子育て家庭の支援活
動をしている「星とおひさまFika
aキャラバン」の貴家由美子さん
にお話を伺いました。

かつては、兄弟姉妹がたくさん
いたり、おじいちゃんおばあちゃん
といっしょに住んでいたりと、多世代
で同居している家庭が多くありまし
た。年上の子は年下の子の面倒を見
るのが当たり前で、自然と子育ての
方法を学んでいましたよね。また、
保護者同士や地域の人々とのつなが
りによって、親として学び、育ち合
い、地域全体で子育て家庭を支えて
いました。しかし近年では、両親の
共働きやひとり親家庭の増加など、
家庭環境が多様化したうえ、近所や
地域とのつながりをもつ機会も減っ
ています。

かに話すことで気持ちが楽になっ
た」、「自分を認めてもらえること
で子育てに自信がもてるようになって
た」などという感想を聞きます。

子育ては、保護者と子どもとの真
剣勝負。子どものことを思うからこ
そ、ちよつとした疑問や悩みをもつ
こともあるかと思いますが、でも、悩
んでいるのは自分だけではなく、他
の保護者や地域の皆さんも子育てで
悩んだ経験があるはず。一人で悩み
を抱え込まず、身近にいつでも相談
できたり共感し合えたりする人を見
つけるとよいと思います。きつと力
になってくれる方がいるはずですよ。

地域の皆さんは、身近に気になる
家庭があっても「おせっかいなひと
だと思われたくないから、つい声を
掛けるのをためらってしまいがち。
「おはよう」と日頃からあいさつし
たり、悩んでいそうな保護者には「大
丈夫だよ」と認めてあげたりして、
子育て中の家庭をあたたく応援し
てあげてほしいですね。

はちおうじのいえいく

問 生涯学習政策課 (☎620・7333、FAX626・8554)

子どもは家庭の中だけではなく、学校や地域のさまざまな人たちと関わり、見
守られながら成長していきます。市では、地域全体ではちおうじっ子の未来を育
むため、すべての教育の出発点となる家庭教育を「いえいく」と呼ぶこととし、
学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子育て家庭を支えるための取
り組みを始めています。

地域は子育て家庭の応援団

家庭教育支援チーム
「星とおひさまFika aキャラバン」

貴家 由美子さん



星とおひさまFika aキャラバン

子育て中の保護者を対
象に、子育ての不安や悩
みを共有し合う機会を提
供することで、心理的負
担を軽減したり、保護者
同士のつながりをつくっ
たりする取り組みを行っ
ている。

新たな時代も 豊かな学びを

問 学校教育政策課 (☎620・7403、FAX 627・8811)

新しい時代を迎える今年度、市では子どもたちや市民一人ひとりの更なる豊かな学びのために、学習環境を充実させていきます。

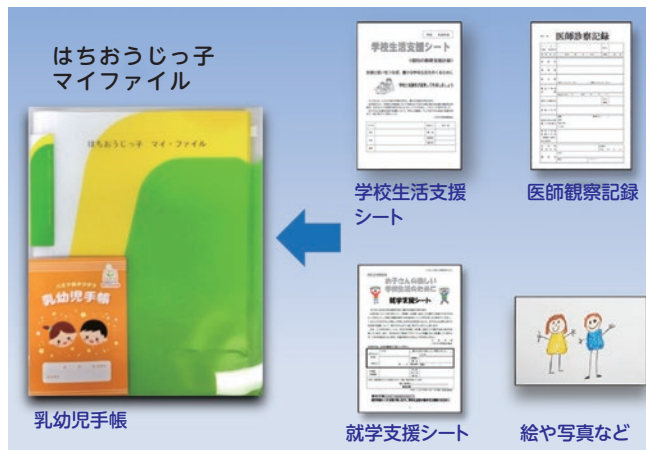


一人ひとりが安心して学べるように

市では、子どもたちが安心して学べるように一人ひとりの状況に応じて、適正な指導と必要な支援を行っていきます。

保護者とともに切れ目のない支援を

誰もが乳幼児期から就学・進学・就労などの節目で困らないよう、切れ目のない支援事業「はちおうじっ子マイファイル」に取り組んでいます。子ども一人ひとりの特性に応じて「学校生活支援シート」や「個別指導計画」を各学校が作成。保護者と子どもの情報を共有しながら、切れ目なく着実に支援の引き継ぎに取り組んでいます。



子どもの成長の記録を1つのファイルに

全小・中学校に学校運営協議会設置が完了

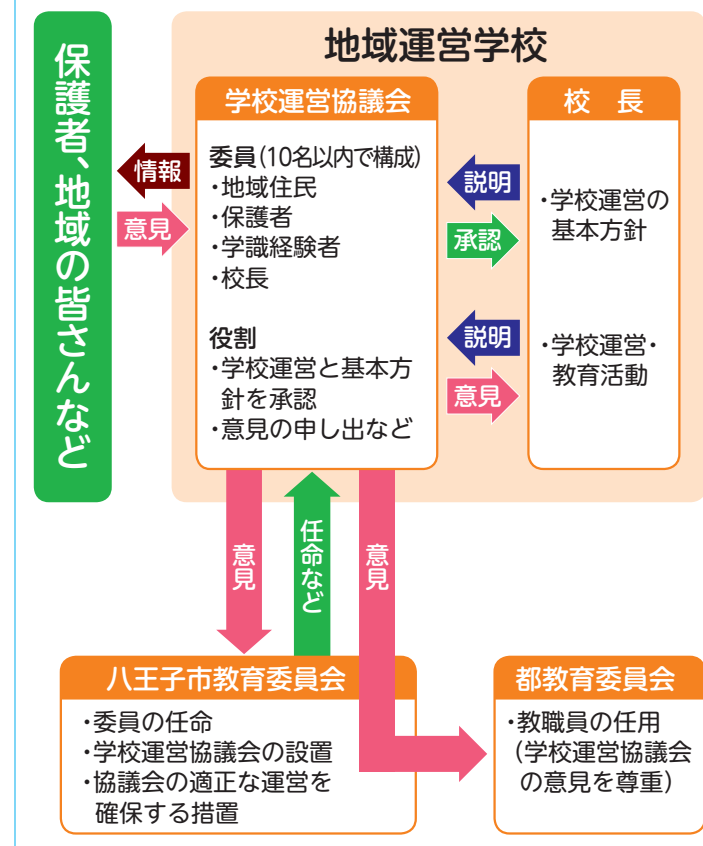
本市では、保護者や地域住民の力を活かした学校運営を行う学校運営協議会制度を平成19年度から順次、市立小・中学校へ導入してきました。平成31年4月には、全市立小・中学校に学校運営協議会の設置が完了。同協議会を設置した「地域運営学校」では、子どもたちや学校が抱える問題を地域ならではの創意工夫で解決し、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

地域で力を子どもを育む

平成20年度に地域運営学校となった浅川小学校では、地域を大切にす

る心の豊かな子どもを育てようとした。地域の人が講師となり、自然環境の保全について指導したり、まちのごみ問題を解決するため、子どもたちが自ら考える授業などを行ったりしています。また、同校では、義務教育9年間を通して、未来の浅川地区を担う人材を育てるため、浅川中学校の学校運営協議会と連携し、あいさつ運動や部活動体験を実施。小学生と中学生が交流を深めています。今後も、さらなる教育環境の充実に向けて、同じ中学校区内の学校間の連携を深め、地域の特色を活かして子どもの成長を支える体制づくりに取り組んでいます。

地域運営学校の仕組み

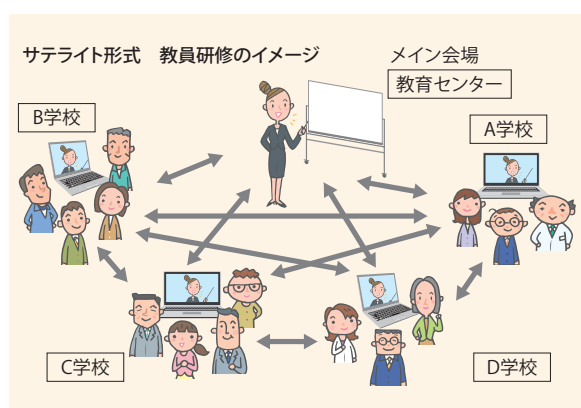


教員に誇りとやりがいを

平成30年8月に策定した「八王子市立小・中学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教員が誇りとやりがいをもち、学校教育の質の維持向上を図るため、新たな教員研修や教務負担の軽減など、さまざまな取り組みを推進していきます。

心身の健康保持を

平成31年度から、遠くの研修会場に行かなくても近くの学校で受講できるサテライト形式の研修を実施し、教員の移動の負担を軽減します。また、教員自身の意識改革のために、時間に対する意識を向上させるタイムマネジメント研修を実施し、勤務時間内に業務



近くの学校で研修が受講可能に



QRコードリーダーで出勤状況を把握して

指導時間の確保を

教員に代わり部活動指導や大会への引率ができる「部活動指導員」を増員することや教員の業務を補助する「スクール・サポート・スタッフ」を引き続き配置することなどで、教員が教材研究や授業準備に専念できる時間のほか、子どもたちへの指導時間をより一層確保していきます。

を効率的・効果的に遂行する能力を養います。さらに、教員の出勤状況を把握するためにQRコードリーダーを全校に設置。勤務時間を客観的に把握することで、長時間勤務の抑制につなげ、教員の心身の健康を保持していきます。



子どもたちのためにできることを考えて



市立浅川小学校
しみず ひろみ
清水 弘美校長

子どもたちは地域で生まれ、育ち、自立していきます。子どもたちが抱える問題は、地域のネットワークを活かして解決していきたいですね。

校長先生に
聞きました



教育委員会表彰の式典で

教育委員会表彰

教育委員会では、教育やスポーツ、文化の振興と発展に貢献し、その功績が顕著な方や模範となる優秀な成績を収めた方を表彰しています。

3月に市役所で開催した表彰式典では、スポーツの世界大会やピアノコンクールなど、さまざまな分野で活躍した子どもたちや、義務教育9年間を一度も遅刻や早退をせずに全日程を出席した生徒、通学路での見守りや、学校の美化活動など、長年ボランティアとして市の教育活動を支えている方を表彰しました。

表彰された方の氏名など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

中学生「東京駅伝」大会で 八王子市選抜チームが総合優勝！

教育委員会表彰（一般体育区分）受賞
「八王子市選抜チーム」の皆さん

平成31年2月3日に開催された「中学生『東京駅伝』大会」で、本市の選抜チームが男子の部、女子の部ともに優勝し、初の総合優勝を果たしました。



総合優勝の喜びを市長に報告



「子抱き土偶」複製品（郷土資料館蔵）

子抱き土偶

【問】文化財課（☎620・7265、☎626・8554）

昭和43年に、川口町にある宮田遺跡で、今からおよそ4,500年から5,500年ほど前の縄文時代中期の住居跡から、1つの土偶が出土しました。この土偶は「子抱き土偶」と呼ばれ、横座りした女性が右手で子どもの下半身を上から持ち、左手で上半身を下から支え持つ形で、まるで母親が子どもを優しく包み込むように抱いている姿をしています。残念ながら母親の土偶の頭部はなくなっており、どのような顔をしていたのかはわかりませんが、抱かれている子どもの顔は、母親に抱かれ安心して微笑んでいるように見えます。子抱き土偶のような形をした土偶は珍しく、全国でも数えるほどしかありません。

土偶は手が横に張り出すか下に折れ曲がるような姿で立ち、お腹が張り出て妊娠している女性を模している形が一般的で、妊娠している女性像から子孫繁栄や無事に子どもが生まれてほしいという願いが込められているといわれています。また、土偶の頭部や手足などが欠けて出土することから、体の悪いところを治すためなど、さまざまな説がありますが今のところはっきりしていません。

なぜ子どもを抱いた土偶が作られたのかはわかりませんが、子どもの嬉しそうな表情から、子どもを慈しむ親の気持ちがこの土偶を作らせたのかもしれない。いつの時代も子どもを思う親心、親を慕う子どもの心は変わることはないことを感じられる遺物です。

知っておきたい
八王子の
歴史

いつでも、どこでも、読書を楽しんで

市では「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる「読書のまち八王子」の実現に向けて、読書環境の充実に取り組んでいます。

身近な場所に図書館を

平成31年度は、石川市民センターと由木中央市民センターの地区図書室を図書館として整備します。図書館になることで、開館日数と利用時間が増え、市の図書館から離れた地域の利便性が向上。身近な場所でも市の図書館のさまざまな蔵書を利用することができま

す。また、各図書館に司書を配置し、地域の歴史やゆかりのある人に関

図書館司書に
聞きました



恩方市民センター図書館 司書
グラントウ カトリーナさん

多くの方から近くに図書館ができてうれしいと言われます。地域に関するコーナーをつくるなど、地域に根ざした図書館づくりを進めています。



学校での本の貸出や返却がスムーズに

教育活動をサポートして

する本や資料を取り揃えたり、利用者の資料探しを支援したりするなど、地域に根ざした図書館をめざしていきます。

全市立小・中学校に学校図書館システムを導入することにより、本の貸出・返却処理を迅速にします。さらに、子どもたちや教員が学習の中で活用する本や読みたい本を、いつでもシステムで検索することができます。子どもたちの自発的な読書活動や教員の指導時間の確保など、教育活動の一層の支援を図っていきます。

未来につなぐレガシーを

市立小・中学校ではオリンピック・パラリンピック教育を通して、子どもたちの「豊かな国際感覚」や「日本人としての誇り」、「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」の5つの資質を育成していきます。

平成31年度は、オリンピック・パラリンピック教育をさらに発展させ、学校ごとに特色ある取り組み「学校2020レガシー事業」を実施。5つの資質を育成するとともに、子どもたちが国際社会の一員として活躍し、社会に貢献できる力を育んでいきます。

第五小学校では体育館に特製のボルダリングウォールを設置。東京2020大会の正式種目のボルダリング体験を通して、子どもたちの体力向上とオリンピック・パラリンピックへの関心を高めています。



休み時間も楽しく練習して

鹿島小学校では、オーストラリアの小学生とインターネットのテレビ電話で交流。好きなスポーツなど、さまざまな話題について英語で語り合い、親交を深めています。



英語でコミュニケーションを

教育委員会定例会を開催

平成31年1月から3月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○八王子市第四次特別支援教育推進計画について

【協議事項】

○平成30年度八王子市立小・中学校の学力向上の取組について

○「八王子市歴史文化基本構想」の策定について

【報告事項】

○特別展「アポロ展―月をめざした人類の軌跡と未来」の開催について
○第10回中学生「東京駅伝」大会の結果について

○第69回全関東八王子夢街道駅伝競走大会の実施結果について

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。問い合わせは教育総務課(☎620・7323、FAX627・8811)へ。

今後の定例会(予定)

日時	会場
4月24日(水) 午前9時30分～	市役所本庁舎
5月22日(水) 午前9時30分～	

定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

新入学のご案内を送付

2020年4月に市立小・中学校へ入学するお子さんのいる家庭を対象に「新入学のご案内」を4月下旬に送付します。通学区域の指定校情報や学校選択制度、就学時健康診断など、入学にあたり必要となる手続きについて案内しています。保護者の方は、必ず内容をご確認ください。問い合わせは教育支援課(☎620・7339、FAX627・8813)へ。

就学援助の申請を

入学前の3月に「新入学準備金」を受給した方で、入学後も就学援助を希望する場合は、別途、申請書の提出が必要です。また「新入学準備金」が不支給だった方でも、就学援助制度の認定を受けられる場合があります。問い合わせは教育支援課(☎620・7339、FAX627・8813)へ。

災害時の情報発信

市立小・中学校では、災害時に子どもたちの被災状況や安否情報を学校のホームページの「災害時情報掲示板」と「災害用伝言ダイヤル(171)」を使って情報発信します。毎月1・15日には、体験利用ができます。いざという時のために、ご家庭でも利用方法をご確認ください。問い合わせは学校教育政策課(☎620・7403、FAX627・8811)へ。

総合教育会議

総合教育会議は、市長と教育委員会が教育に関する課題などを共有し、より一層市民の声を反映した教育行政を推進することを目的に開催しています。

平成30年度は会議を3回開催し、市長と教育委員会が意見を交換しました。主な内容をお知らせします。

【協議内容】

○教育・子育て等関連事業について
○子どもの生活実態調査について

【報告事項】

○「市立小・中学校における働き方改革推進プラン」について

議事録など、詳しくは市のホームページをご覧ください。また、平成31年度は会議を3回開催する予定です。会議は原則公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。問い合わせは総合経営部経営計画第二課(☎620・7306、FAX627・5939)へ。

平成31年度の会議開催日程(予定)

開催日時	会場
第1回 6月5日(水) 午後1時30分～	市役所本庁舎
第2回 10月2日(水) 午後1時30分～	
第3回 2020年1月29日(水) 午後1時30分～	

SOSのサインかも

子どもは家庭にいるときと学校にいるときでは見せる姿が違っていることがあります。お子さんに気になるようすがあったら、学校や専門機関に相談してください。

総合教育相談室 ☎664・6949

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分～午後5時

気になるようすはありませんか?

SOSサイン発見チェックリスト

- ☐ 感情の起伏が激しくなった。
- ☐ 自分の部屋に閉じこもる時間が増えた。
- ☐ 学校や友だちの話をしなくなった。
- ☐ 登校時間に体調不良を訴える。
- ☐ 体に原因不明の傷やあざなどがある。
- ☐ 電話やメールの着信音におびえる。

